

規則正しい生活で身に付く「力」!

中学時代、それは、人生で初めて自分の責任で自分の進路を選択する時期です。子どもたちは、自分なりに進路を考え、勉強を頑張らなければという思いとともに、心のどこかに絶えず不安を抱えています。

保護者にとっても、子どもに対する期待と不安が交錯する時期ではありますが、まずは、子どもの気持ちを受け止める姿勢を大切にいただきたいと思います。子どもの考えをしっかりと聞く機会をつくり、子どもの努力や過程を認めてあげること、厳しくも温かい励ましを積み重ねることこそが、子どもに意欲を持たせ、進路を切り開かせることにつながります。

そして、家庭学習は、自分の進路を自分の手でつかむためになくはないものです。自分の将来に向かって毎日の地道な積み重ねとなる家庭学習の習慣を身につけることができる環境づくりとともに、子どもたちへの指導をよろしくお願いいたします。

進路確保

確かな学力

授業・家庭学習

正しい心・優しい心

基本的な生活習慣

家庭学習時間の目安(例)

校種	年齢	平日	休日	主な学習内容
幼稚園	3~5才	10分	10分	読み聞かせやふれあい遊びで学ぶ喜びを感じる。
小学校	1~2年	学年	60分	宿題、読書・音読、漢字・計算練習、日記
	3~4年	+	90分	宿題、予習復習、音読、漢字・計算練習、日記
	5~6年	10分	2時間以上	宿題、予習復習、音読、漢字・計算練習、日記、興味関心のある自主学習
中学校	1~2年	2時間以上	3時間以上	宿題、予習復習、自主学習の定着、定期テスト対策
	3年	3時間以上	4時間以上	宿題、予習復習、進路確保に向けた自主学習、定期テスト対策

学力アップは規則正しい生活から

- 早寝・早起きをして、朝ごはんを食べる。
- テレビ、ゲーム、スマホは時間を決める。
- 同じ場所、同じ時間で習慣化する。
- 自分で時間割や学習用具をそろえる。
- 家族の一員として、手伝いをする。



家庭学習のポイント

- (1) 決まった時間・場所で毎日する。
- (2) 自分で計画を立ててする。
- (3) 集中する。(「ながら勉強」をしない。)
- (4) 正しい姿勢で机に向かう。
- (5) わからないときは教科書等で調べる。

自分を大切に、社会や学校のルールを大切に、周囲の人を大切にする心が学力向上につながります。また、家庭で勉強に取り組む環境づくりだけでなく、正しく生きること、優しく生きingことを教導していくことも、確かな学力の定着につながります。お子さんが前向きで、夢に向かって充実した生活が送れるよう、温かく見守ってください。

校長より

本校のように生徒数が少ない学校では、1人の回答によって調査の結果が左右されるため、割合だけにとらわれない分析が必要です。人数の多いクラスや複式の支援学級を中心に複数教員で対応できる体制をとることで個別支援が充実し、落ち着いた雰囲気の中、授業ができています。また、計画的に話し合う場面を取り入れていることで、3年生の質問紙で、「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」の問いに対し、「そう思う」と答えた生徒が全体の46%、肯定的な回答も8割を超えました。これは、県や全国平均に比べても高い結果です。「なぜ」「どうして」という問いかけを発問に加え、自分の考えを文字に起こすことを続けてきたことが、この結果に結びついたのだと思います。

また、全国的な課題であるメディアの利用時間、授業外の学習時間にも向上が見て取れました。ただ、自主学習は、今後も家庭学習を増やす取組の継続とともに、計画を立てた学習の必要があります。学校でも学習に取り組むなどの工夫もよいのではないのでしょうか。メディアとの関りについても、自ら意識してルールを決めていく必要性があります。自立を目指すことが必要な中学生。自分にとって何がベストかを考えることを意識させながら、生活改善に取り組ませたいと思います。